

### ふれあい祭報告③

## 姉妹都市交流活動のPRを行いました

金井勇樹(NI-Youth)

「習志野きらっと2023」では、NI-Youthと国際交流部会は合同で姉妹都市交流のPR活動を行いました。

コロナ明け初めての大きなイベントということで、久しぶりのイベントにも関わらず多くのメンバーが集まり、NI-Youthからは8人のメンバーが参加しました。高校生の新メンバーも2人参加して一緒にPR活動を行いました。それを通して、姉妹都市交流事業を盛り上げたいというメンバーの思いやつながりの強さを感じました。また久しぶりに国際交流部会の人たちと活動ができ、声のかけ方や説明の仕方などで学ぶ点が多く、安心するとともに存在の大きさを感じました。

NI-Youthメンバーは、今年行われる姉妹都市タスカルーサとの青少年交流に参加する高校生を見つけるために、興味を持ってくれそうな高校生に声掛けを行い、国際交流協会の説明をしました。その結果国際交流に興味を持つ高校生が数人見つかりました。またタスカルーサ市が開催している俳句コンテスト

などをきっかけに、タスカルーサ市を知っている方も見つかりました。このようなことから、広く活動することの大切さを知って嬉しくなりました。同時にまだ活動の認知度が低いことも感じ、これからの活動により力を入れていこうと決意するきっかけになりました。

今後は青少年海外派遣事業に参加する高校生や、ホームステイに協力してもらう家庭に向けて体験談等話す機会が増えていくので、さらに精力的に活動していこうと思います。



NIA ブース前でNI-Youthと国際交流部会のメンバー